



GREEN LETTER

グリーンレター

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

GREEN COLUMN

01. 影の立役者？

02. 生きものの名前

Vol.299

2022/3/01



今月の一枚



Photo

「雪景色」

表紙写真・文／久保田結衣

町内在住の画家横森政明は「街の眺め」シリーズとして、美幌町の冬の街並みを多数描きました。そのほとんどの作品は、真っ白な雪景色に、美幌小学校のエメラルドグリーンの屋根が象徴的に描かれており、この風景を見るといつもその作品群を思い出します。

冬の間は馴染みのある風景ですが、雪の日も徐々に減っていき、雪解けの季節は近いのかなあ、と少々寂しさを感じます。

Event. 今月のイベント

ロビー上映会「みどりの村でわくわく植物観察会」～3月25日（金）

企画展「冬季作品展」～3月6日（日）

ロビー展「ひな祭りとひな人形」～3月3日（木）

プラ工房「チューブブレスレット」3月18日（金）、19日（土）

博物館講座（総合編）「私たちのふるさと情報」3月26日（土）

特別展「びほろ町4公園の植物図鑑」3月26日（土）～10月23日（日）

Information. 参加者募集

プラ工房「チューブブレスレット」

●3/18（金）、19（土）①10:00開始、②11:00開始、③14:00開始、④15:00開始、所要時間30分、作品ができ次第終了 ●美幌博物館1階 講座室 ●参加費300円、マスク ●八重柏誠（美幌博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（-3/17）。各回定員12名で締切。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

博物館講座（総合編）「私たちのふるさと情報」

●3/26（土）10:00-12:00 ●美幌町民会館3F中ホール ●無料、マスク ●美幌高等学校生徒、三橋弘宗氏（人と自然の博物館）、工藤知美氏（EnVision 環境事務所）、美幌博物館学芸員 ●美幌博物館へ電話申込み（3/1-25）。小学生以下は保護者の同伴が必要、定員50名で締切、定員に達しない場合は当日参加も可能です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱がある、あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは、内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により、一時休館となることもあります。事前にお電話でお問い合わせの上、ご参加ください。

今月の休館日

7日、14日
22日、28日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用、持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN

グリーンコラム



影の立役者？

文・絵／久保田結衣

一 カワは、動物の皮を煮た時に出
一 る粘着質のある成分です。紀元
前の頃から糊の役割を果たしていたと
されています。日本においては、7世
紀頃、墨とともに伝來したと言われて
います。とても長い歴史のあるニカワ
は、今日私たち生活の中でも、接着材
として使われることが多く、身近な存
在と言えます。

美術の世界では、墨の他に日本画で
使用する岩絵の具、水墨画や日本画で
使用する和紙、油絵で使用するキャン
バスなどで使われています。

絵の具は、色の素となる「顔料」と
糊の役割を果たす「展色材」から成り
立っています。顔料を水で溶いて塗っ
ても、紙などの支持体に定着するこ
とができません。そこで展色材を混ぜる
ことによって、支持体に定着させら
ることができます。特に岩絵の具は、顔料
の粒子が荒いものが多く、強力な接着



力を持つニカワとともに相性が良いの
です。また、顔料本来の色に近い色で
塗布することが可能で、書画
や日本画で使う和紙では、ドーサ引き
という形でニカワを使用します。これ
はミョウバン、水と合わせて液体を作
り、和紙にまんべんなく塗布する作業
のことを指します。この工程を行って
、絵の具がにじむのを防ぎ、発色
の良い和紙を作ることができます。

キャンバスを作成する工程でも、油
絵の具のにじみ防止のためにニカワを
塗布します。この上からジェッソを被
せることで、油絵の具がきれいに発色
するキャンバスができます。

今日でも様々な用途で活躍するニカ
ワ。美術においてもこれを利用しよ
う！という昔の人たちの発想と知恵に
は本当に感心させられます。少々地味
ですが、ニカワは美術を支える影の立
役者と言えるのかもしれません。



生きものの名前

写真・文／鬼丸和幸

般、「オシリカジリムシ」といいう新種の甲殻類こうかくが日本で発見されたというニュースが流れました。とてもユニークな名前だということで話題となりました。命名された鹿児島大学の先生は、「親しみやすい名前にして、身近に興味を感じてもらえば」と話されていました。

美幌博物館が収蔵している昆虫標本の中にも、意外とユニークな名前（和名）がつけられた昆虫標本があります…例えば、コエンマムシえんま（小閻魔虫）。エンマ（閻魔）は、文字通り、地獄の閻魔大王のことです。見たことがない人にとっては、「閻魔というくらいだから、さぞかし怖い形をした昆虫？」「見ると、地獄にすんでいるような気味悪い虫？」…などと、あれこれ妄想してしまいそうですが、その体つきは、隊長約1cmの小型、円形の黒色をしており、いたって平凡な形態をしてい

ます。

実は、コエンマムシは、動物の糞などによく集まるハエの仲間の幼虫などを食べます。糞に集まる虫の仲間には、他にダイコクコガネ（大黒黄金）、エンマコガネ（閻魔黄金）などという名前を持ち、糞を食べる昆虫（糞虫：フンチュウ）もいるのですが、いずれも神様えびす（恵比寿大黒様、閻魔大王）の名前がつけられています。“閻魔”という名前の由来には、「死体に集まる習性があるから」…など諸説あるようですが、確かなことは不明です。古代エジプトでは、糞虫が糞を転がして球にする様が神秘的であることから、人々はこの昆虫を神聖視していたとも言われています。

昆虫に限らず、生きものの名前の由来を調べてみると、意外と面白い事実を知ることができます（写真は、美幌町で見られる糞虫のオオセンチコガネ）。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・八重柏誠

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152(72)2160 Fax / 0152(72)2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



足を載せるとブルブル振動して、足筋肉を刺激する器具を使い始めました。骨に振動を与えると、長寿命化に関わる遺伝子機能を、活性化させることができ判明しているのだそうです。とは言え、治療中の高血圧・脂肪肝を早く治さないと、短寿命化は避けられないのですが…。（鬼丸）